

12 筑波メディカルセンター病院

病院の概要

開設	1985年2月
開設者	公益財団法人筑波メディカルセンター
院長名	河野 元嗣
病床数	408床
標榜科 (25科)	総合診療科、救急診療科、小児科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、腎臓内科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、病理診断科、糖尿病・内分泌代謝内科、病理科、放射線治療科、感染症内科、緩和医療科
医師数	148人(常勤)
指導医数	74人(常勤)
研修医数	38人(基幹型22人、協力型16人)
研修医の主な 出身大学	筑波大学、秋田大学、山形大学、獨協医科大学、岩手医科大学、旭川医科大学、群馬大学、東京科学大学、杏林大学、富山大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、北京大学、セグド大学
外来患者数	454人/日
入院患者数	305人/日
時間外・休日労働時間 上限の適用水準	A水準、B水準、C-1水準(2026年4月現在) ※臨床研修医はA水準(年間960時間上限)となります

募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者もしくは、医師臨床研修マッチングに参加資格を有する者
採用人数	12名(予定)
試験日程	2026年8月(予定)
選考方法	面接、書類、適性検査(予定)
処遇	■身分: 正職員(臨床研修科) ■給与: 1年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約540万円(時間外勤務手当は別途支給) 2年次基本給33万円 その他諸手当等を含む年収約680万円(時間外勤務手当は別途支給) ■社会保険: 有り ■その他: 住宅手当/月額23,000円上限
見学	随時受付(土日祝日・12/28~1/4除)

病院見学対応状況

- 見学時間…随時(平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者: 総務部人事課(教育研修管理室)
TEL: 029-851-3511
E-mail: kensyu@tmch.or.jp



応募・問合せ先

筑波メディカルセンター病院

〒305-8558 つくば市天久保1-3-1
 担当者: 総務部人事課(教育研修管理室)
 TEL: 029-851-3511(代)
 FAX: 029-858-2773
 E-mail: kensyu@tmch.or.jp
 URL: https://www.tmch.or.jp/recruitment/junior-resident/index.html



〈電車・バスをご利用の場合〉
 ■つくばエクスプレス: つくば駅下車
 つくばセンターから筑波大学循環バス(右回り・左回り)乗車(所要時間約5分)、「筑波メディカルセンター前」下車(所要時間約35分)
 ・タクシー約3分
 ・徒歩約3分
 ・徒歩約20分
 ■常磐線: 荒川沖駅下車
 ・駅前西口から筑波大学中央行に乗車し、「筑波メディカルセンター前」下車(所要時間約35分)
 ・タクシー約20分(荒川沖駅より約10km)
 ■常磐線高速バス特急つくば号
 ・東京駅八重洲南口バスターミナルより、「筑波大学」行き乗車(所用時間約1時間10分)「筑波大学病院」下車 徒歩3分
 ・タクシー約20分(土浦駅より約10km)
 ■常磐線: 土浦駅下車
 ・駅前西口から筑波大学中央行・石下行に乗車し、「筑波メディカルセンター前」下車(所要時間約35分)
 ・タクシー約20分(土浦駅より約10km)

育児支援等

筑波メディカルセンター病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。
 また、保育園・病児保育室も完備し、育児しながら働く場の提供を行っています。近年では男性医師の育児休業取得も進んでおり、性別を問わず柔軟に制度を活用できる風土が根付いています。

研修プログラムの特色

- 1.救命救急センター、茨城県地域がんセンター、地域医療支援病院の特徴を活かし、基礎的臨床能力を修得するための研修
- 2.救命救急センターにおける救急医療、common diseaseを中心とした臨床研修
- 3.研修計画は希望を重視し、選択研修として当院及び協力型病院の希望診療科をローテート可能
- 4.病院の機能や職種役割を理解するための院内各部署によるオリエンテーションを研修開始時に実施
- 5.基本的臨床技術の評価と技術向上のための「研修医メディカルラリー」の実施
- 6.プレゼンテーション能力および学術活動能力向上のための「研修医症例発表会」「研修医学術集会」の開催

研修スケジュール例

4月初旬は全体オリエンテーションから開始します。

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急			選択	外科	
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神	地域	選択		小児		選択	産婦人科		選択		

- 内科(必修) 24週間(6ヵ月) 主に入院患者の検査・治療を中心に臨床医として必要な基本的スキルを習得する。
- 外科(必修) 8週間(2ヵ月) 主に入院患者の診療と手術参加を通して、基本的な診療スキルと手術適応や外科的技術、周術期管理などについて習得する。
- 小児科(必修) 8週間(2ヵ月) 外来診療および入院患者の診療を通して、診察方法、基本的検査の選択と評価、治療手技、薬用量、小児保健などについて習得する。
- 産婦人科(必修) 8週間(2ヵ月) 協力病院での院外研修。
- 精神科(必修) 4週間(1ヵ月) 協力病院での院外研修。
- 救急(必修) 12週間(3ヵ月) 主な救急疾患の病態を理解し、救急現場で最も適切な処置を迅速・確実に実施するために必要な基本的スキルを習得する。
- 地域医療(必修) 4週間(1ヵ月) 協力施設である複数の診療所での地域医療の現場を経験する。外来研修や在宅医療研修を行う。
- 外来研修(必修) 4週間(20日) 院内の内科研修、小児科研修、および地域医療研修期間での並行研修を予定。
- 選択 28週間(7ヵ月) 院内および協力病院での自由選択研修。

専門研修の募集について

「内科」「救急科」「総合診療科」で専攻医を募集しております。
 詳細はホームページをご参照ください。

募集診療科	選考方法
内科・救急科・総合診療科	面接

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医教育関連病院
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本救急医学会指導医指定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本外傷学会外傷専門医研修施設
- ・日本航空医療学会認定指定施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本アレルギー学会認定教育施設(呼吸器内科・小児科)
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本神経学会専門医進教育施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心臓血管インターベンション治療学会研修施設
- ・日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・関連11学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医基幹施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設(一次再建)・インプラント実施施設(一次一期再建)
- ・日本消化器病学会専門医認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設
- ・日本整形外科学会専門医制度指定修練施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本手外科学会手外科専門医関連研修施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修認定施設 B
- ・日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定研修施設
- ・日本臨床細胞学会教育研修施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定
- ・日本感染症学会連携研修施設
- ・日本環境感染学会認定教育施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- ・日本脈管学会認定研修関連施設
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医教育医制度認定施設

病院からメッセージ



プログラム責任者
齊藤 久子 専門部長

当院の臨床研修の理念は「いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する」です。けがや病気の方を助けたいという気持ちは医師を目指す誰もが持っていると思いますが、「いかなる状況でも」真摯に向き合うためには、自分自身が健康で人として成長し、その上に医学の知識と経験、また自分の能力を知り他スタッフとどう連携できるか瞬時に判断する冷静さやコミュニケーション能力が必要です。当院では、この理念のもと、病院全体、多職種一丸となって研修医の育成に力を入れています。
 当院は救命救急センターや地域がんセンターを有する地域中核病院で、メディカルラリーや学術集会、勉強会など教育は充実しています。全国から研修医は集まっており、進路も救急医療から基礎医学まで様々です。是非一度見学に来てください!



研修医
小椋 萌

筑波メディカルセンター病院は上級医やコメディカルからの指導が丁寧で、この環境でなら知識・技術ともに今後の基盤となる力をつけられたいと信じて研鑽に励んでいます。実際に経験できる症例や手技も豊富で、実践しながら学ぶことができます。
 また、週に1度の勉強会、年に2回の研修医向けイベントなど、日常業務にとどまらず学びの場が提供されています。
 この充実した研修内容を求めて、当院には国内外からやる気と志のある研修医が集います。そんな仲間と囲まれて2年間を過ごすことも魅力の一つです。
 学ぶことが好き、自分の能力を高めたい、そんな意欲ある皆さんぜひ一度見学にお越しください!